

令和7年度 地産地消推進の取組実績(見込)

日程	行事	内容	会場
4月5日	とれたて朝市	新規漁業就業者が獲りたての新鮮魚介を戸仲漁港で販売するイベントを開催し、里の厨からも出張販売を実施した。	戸仲漁港
8月3日	ひまわり見学会	塩田コミュニティ協議会が管理するひまわり畑で、市民の皆さんと一緒に楽しむ「ひまわり見学会」を開催した。 来場者数:約150名	塩田の圃場
10月3日	第3回 鹿野高原豚×周南なすフェア	光市・下松市・周南市と県、山口県農業協同組合等の関係機関で構成する「周南地域地産・地消推進協議会」の取組の一環として、10月3日から10月12日にかけて、地元飲食店の料理に鹿野高原豚やなすなどの地元食材を活用した「第3回鹿野高原豚×周南なすフェア」を開催した。	光市内:1店舗
11月1日	地引網体験	子どもたちに光の海や魚を身近に感じてもらうとともに、海を体験する機会を創出するため、山口県漁業協同組合光支店の主催により「地引網」を行った。 参加者数:小・中学生80名	室積海岸
11月1日	料理体験教室 「野菜ソムリエのさとくりキッチン」	秋の味覚「さつまいも」をテーマに、光市産の新米やさつまいも、カンロ飴などを食材に使い、さつまいもご飯や大学いもなどの料理と試食を行った。	里の厨
11月16日	ひかりふるさとまつり	「伝えよう! 郷土の文化と実りのよろこび」をテーマに、地元産のお米や新鮮な野菜、果物や加工品販売のほか、クルマエビの「お箸で」つかみ取りなどを行った。 来場者数:約20,000名	大和総合運動公園
11月20日	光市産新米販売イベント	第一次産業の振興と地産地消の推進に向けて、本市の主要な農産物であるお米の周知と消費の拡大を図るため、株式会社丸久が実施する販売イベントに合わせて、市長のトップセールスによる光市産米のPRを行った。	アルク光井店
11月26日	カンロ飴で大学いもづくり さつまいも販売体験	大和小学校1年生が、光市生活改善実行グループ連絡協議会の指導で、カンロ飴を調味料に使う大学いもづくりに取り組んだ。 また、東荷幼稚園の園児と一緒に、里の厨でさつまいもの販売体験を行った。	里の厨
2月15日	料理体験教室 「野菜ソムリエのさとくりキッチン」	「いちご」をテーマに、光市産の5種類のいちごの食べ比べや、焼きたてワッフルにツカリベリーズの生クリームといちごをデコレーションして試食を行った。	里の厨
年4回	学校給食意見交換会	山口県農業協同組合・里の厨事業協同組合、学校給食センター、農林水産課で定期的(3カ月に1回程度)に情報交換の場を設け、需要と供給のマッチングを図った。	学校給食センター
随時	漁師の朝市	新規漁業就業者が獲りたての新鮮魚介を戸仲漁港や各種イベント会場で販売した。	戸仲漁港ほか